

昭和59年8月20日

各教育機関所属長殿
各幼小中高等学校長殿

全国バズ学習研究会

名誉会長 塩田 芳久

(名古屋大学名誉教授)

会長 永井 辰夫

(稲沢女子短期大学教授)

第19回全国バズ学習研究集会

実行委員長 山根 正

(広島 豊浜中学校校長)

第19回 全国バズ学習研究集会 御案内

1978年10月、第13回全国バズ学習研究集会の開催を契機に、地域の教育課題にこたえるべく、豊・豊浜両町に所在する幼・小・中・高の全教職員が結集した、広島県豊高校区教育推進協議会が、その後の活動状況をみていただくために再び開催地となりました。

教育の本質を究めるために、教育実践者と教育研究者との協同研究を積み重ねてきましたバズ学習研究も新しい段階に踏み込んでいきたいと願っています。

本研究集会において、全国の先生方との実践交流を行い、より確かな教育実践の創造へと高めていきたいと存じますので、ぜひ御参加下さるよう御案内申し上げます。

開 催 要 項

- 1 開催期日 昭和59年10月26日(金)27日(土)2日間
- 2 研究主題 地域の教育課題をふまえた教育内容の創造
—— 共に生きる集団づくりを ——
- 3 主 催 全国バズ学習研究会
広島県豊高校区教育推進協議会
広島県尾道教育事務所管内へき地複式教育連盟
- 4 主 管 第19回全国バズ学習研究集会実行委員会
事務局 広島県豊田郡豊町久比 広島県立豊高等学校内
- 5 後 援 広島県教育委員会
豊町ならびに豊町教育委員会
豊浜町ならびに豊浜町教育委員会
豊田・竹原教育振興会
広島県高等学校教職員組合
広島県高等学校教職員組合竹原地区支部
広島県尾三地区高等学校同和教育推進協議会
広島県下島地区PTA連合会

6 会 場 全体会場ならびに分科会会場

豊町立 豊小学校

授業研究会場（推進協内全加盟校園）

- (1) 豊浜町立 斎小学校（大浜小学校において集合教育）
- (2) “ 大浜小学校 同幼稚園
- (3) 豊町立 沖友小学校 同幼稚園
- (4) “ 久比小学校 同幼稚園
- (5) “ 豊小学校 同幼稚園
- (6) 豊浜町立 豊浜中学校
- (7) 豊町立 豊中学校
- (8) 広島県立 豊高等学校

7 日 程

第1日 26日（金）（各校会場→全体会場）

10:00 10:30 14:00 15:00 16:30 17:30 18:00 20:00

受付 (各会場)	授業研究 (各校会場)	会場移動	開会行事 全体会	全国バス 総会	会場 移動	交流会
-------------	----------------	------	-------------	------------	----------	-----

授業研究の各校の日程は各校紹介（7ページ以降）に掲示しています。

幼稚園だけは、公開保育終了後直ちに全体会場に移動し、合同で研究協議を行います。

第2日 27日（土）全体会場

8:30 9:00 11:30 12:30

受付	分科会	全体会 閉会行事	昼食 解散
----	-----	-------------	----------

8 分科会構成

分科会一覧表は6～7ページに掲載しています。

今次集会においては、各分科会における地元提案は、第1分科会以外は、第1日の授業研究の内容と連動した提案内容になっています。

したがって、可能な限り参加分科会は、第1日の授業研究参加校提案の分科会にさせていただきたいと思えます。

なお、第1分科会（同和教育）におきましては、地元推進協のこれまでの活動を同和教育の観点に立って総括したいと考えていますので、第1日とは関係なく御参加下さい。

9 授業研究校、分科会参加について

各会場校の中には、複式学級の小規模校もあり、参加いただく方を一定数で制限させていただかなければならない場合もあります。

したがって、参加希望を変更させていく場合が起るかも知れませんので、参加申し込み時に、第1希望と第2希望を会場校の頭の数字でご記入下さい。

分科会も同様に数字でお願いしますが、第4分科会は、A・B・Cでご記入下さい。

- 10 参加申し込み期日 昭和59年9月25日(必着)
- 11 申し込み方法 折り込みの郵便振替用紙で、所定欄記入の上お申し込み下さい。
- 12 参加費(資料費) 1人 2,000円
参加申し込み時に納入下さい。万一欠席の場合は後日資料をお送りします。
- 13 昼食 1食 800円
現地にはほとんど食堂がありませんので、弁当の必要な方はあっせんさせていただきます。
参加申し込み時に料金を添えてお申し込み下さい。
- 14 宿泊費 1人 6,000円 (1泊2食) (予約金1泊, 2,000円)
- 15 宿舎について
現地に収容力のある宿舎がなく、かなりの数の宿舎に分散していただくことになりますので、予め宿舎をお示すことができません。
したがって、参加申し込みして下さった方に、メ切後宿舎についてはご連絡致します。
- 16 交流会費 1人 5,000円
全国集会恒例の交流会を開催致します。ふるってご参加下さい。
交流会にご参加の方は、夕食をかねていただきますので、26日宿泊費は3,000円になります。
また、島外へ宿舎を割りふらせていただいた方も、終了後特別便でお送りします。

17 交通について

現地は島しょ部ですので、船による輸送が中心になります。
主たる会場地への定期旅客船は、フェリーを除いて高速船であり、定員が少ないので乗船できないことがあります。
したがって、現地実行委員会において臨時便を用意いたしますので、前日からの宿泊希望者は、下記の三原発臨時便をご利用下さい。

また、当日参加の方は、竹原港(内港)発の臨時便をご利用下さい。

その他の定期船を利用される方も、もし参加者だけで定員を越える場合には手だてを考えなければなりませんので、5ページの地図にある乗船港の数字を申し込み用紙所定欄にご記入下さい。

10月25日 宿泊者の臨時便

三原港発 16時30分(次の新幹線を受けて出港します。)

東京発(ひかり113号)名古屋 新大阪 姫路 三原着
10時48分 → 12時51分 → 14時00分 → 14時45分 → 16時5分

(三原駅正面口までお迎えにまいります。)

10月26日 県内参加者用便

(往路) 竹原内港発 8時00分(帰路) 大長港発 18時00分 — 竹原港着 19時00分

10月27日

(往路) 竹原内港発 7時50分

(帰路) 御手洗港発 13時00分 — 竹原港着 13時40分
— 三原港着 15時10分

三原駅より、新幹線上り15時43分発(ひかり144号)に必ず間に合えますので、当日お帰りの方は切符をお求めになって下さい。

料金 三原—現地間往復5,000円(通常運賃片道2,940円)

竹原—現地間片道1,000円(" " 1,620円)

通常運賃は最短港の場合ですが、島内各会場移動その他の経費は全て現地で負担させていただきます。

なお、宿泊希望の方には、宿舎決定の連絡と同時にくわしくご連絡致します。

(1) 高速艇時刻表

(広島・呉→豊島・久比・大長→今治)						(今治→大長・久比・豊島→呉・広島)					
広島	7:10	9:30	12:40	14:50	17:10	↑ ↓	9:19	11:26	14:38	17:01	19:06
呉	7:38	9:58	13:08	15:18	17:38		8:53	11:00	14:12	16:35	18:40
豊島	8:30	10:53	14:00	16:10	18:33		7:58	10:08	13:20	15:43	17:45
久比	↓	11:01	14:08	↓	18:41		7:50	10:00	↑	15:35	↑
大長	8:43	11:09	14:16	16:23	18:49		7:42	9:52	13:07	15:27	17:32
今治	9:13	11:39	14:46	16:53	19:19		7:10	9:20	12:35	14:55	17:00

(2)

三原 → 大長・豊島										
三原	7:25	8:20	9:09	10:09	10:57	12:30	14:15	15:17	16:29	17:37
大長	8:33	(天満止)	10:21	11:16	(天満止)	13:45	15:22	16:28	17:35	18:49
豊島	8:49	↘	10:37	↘	↘	↘	15:36	↘	↘	↘

(2)

豊島・大長 → 三原										
豊島				8:14						
大長	6:15	7:06	(天満発) 8:15	8:49	(天満発) 10:01	11:18	12:30	13:45	(天満発) 15:05	16:28
三原	7:21	8:16	9:06	9:57	10:51	12:25	13:38	14:52	15:56	17:35

(3)

竹原 → 大長・豊島								
竹原	6:25	7:53	9:37	11:50	13:00	14:40	16:18	18:05
大長	7:05	8:33	10:21	12:29	13:45	15:22	16:58	18:49
豊島	↘	8:49	10:37	12:47	↘	15:36	17:22	↘

(3)

豊島・大長 → 竹原								
豊島	↘	↘	↘	↘	↘	15:19	16:42	↘
大長	7:06	8:49	10:21	11:18	13:45	15:33	16:55	17:35
竹原	7:50	9:36	11:00	12:09	14:25	16:17	17:37	18:15

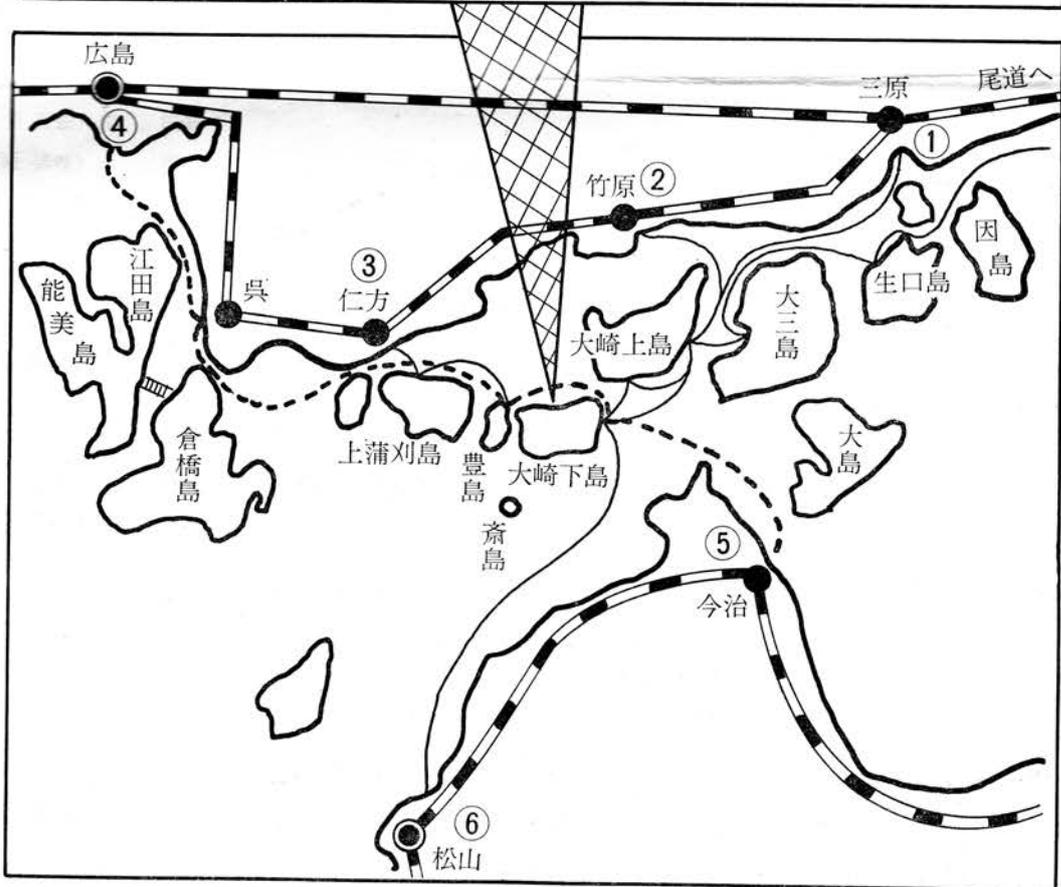
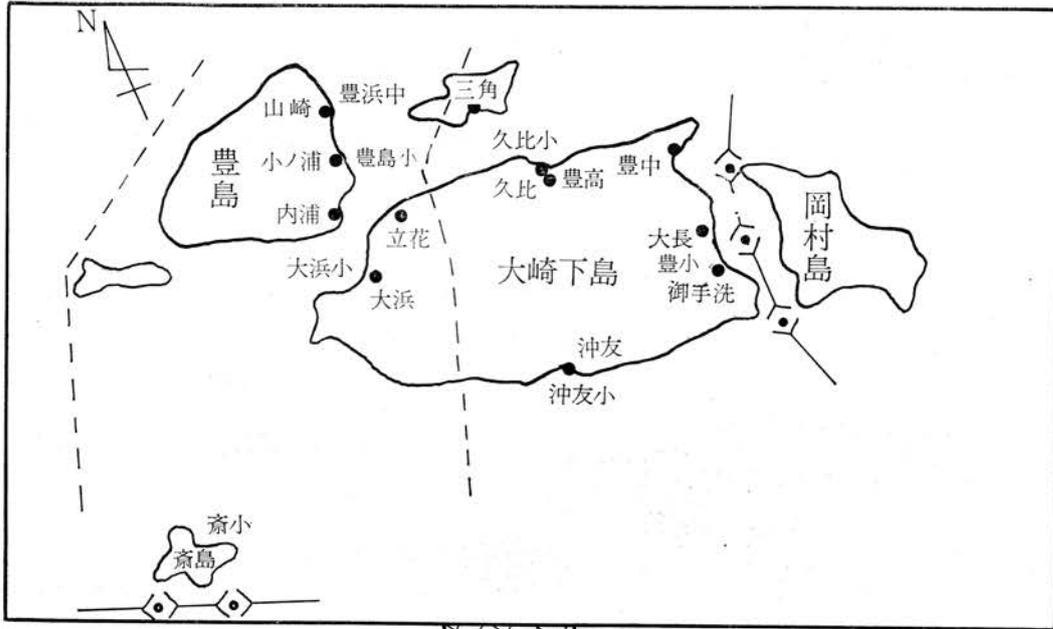
(4)

仁方 → 豊島・久比・大長 → 今治									
仁方	↘	7:45	9:22	11:10	↘	13:25	14:50	16:10	17:59
豊島	↘	8:14	9:54	11:39	↘	13:57	15:19	16:42	18:26
久比	↘	8:21	10:01	↓	↘	↓	15:26	↓	18:33
大長	7:17	8:28	10:08	11:50	12:45	14:10	15:33	16:55	18:40
今治	7:54	9:07	10:47	↘	13:22	↘	16:14	17:38	↘

(4)

今治 → 大長・久比・豊島 → 仁方									
今治	↘	7:56	9:44	11:00	↘	13:25	↘	16:18	17:40
大長	6:47	8:35	10:21	11:39	12:35	14:04	15:22	16:57	18:19
久比	6:54	8:42	10:30	↘	↓	↓	15:29	17:15	↘
豊島	7:01	8:49	10:37	↘	12:47	14:17	15:36	17:22	↘
仁方	7:30	9:21	11:06	↘	13:19	14:46	16:08	17:49	↘

第19回・全国バス学習研究集会・会場案内図



第 19 回 全 国 バズ 学 習 研 究 集 会

校 種	分科会	研 究 主 題	研 究 主 題	提 案 者
全	1	同 和 教 育	地域の教育課題をふまえた教育内容の創造へ向けて。	沢田 映子 (兵庫 姫路 城洋小) 横手 茂 (推進協事務局)
全	2	幼 稚 園 教 育	遊びの中で経験を通していきいきと活動できる保育を考える。	推 進 協 全 園
小	3	複式教育のあり方	複式学級における授業改善のあり方。 集合教育の実践のあり方。	惣明 修市 (推進協 沖友小) 広近 先子 (推進協 大浜小)
	4	やる気を育てる 授 業 改 善	A 国語を中心に。	国田 徹也 (兵庫 加西 北条小) 松本 克彦 (愛知 春日井 西山小) 坂本 卓夫 (推進協 豊小)
			B 社会を中心に。	柴田 忠 (滋賀 愛知川小) 中野 均 (新潟 保田小) 山形 義晴 (推進協 豊島小)
C 算数を中心に。			辻 善造 (愛知 春日井 小野小) 鈴木 睦子 (徳島 鳴門 里浦小) 宮地キヌ子 (推進協 久比小)	
中 高	5	特 別 活 動	学習集団と生活集団の統合をめざす。	目黒 泰 (岩手 盛岡 河南中) 梶田 久忠 (愛知 春日井 中部中) 大川 春治 (推進協 豊中)
	6	授 業 改 善	単元見通し学習による授業改善。	萩藤 優子 (兵庫 姫路 書写中) 伊藤 三洋 (三重 朝陽高) 望月 民雄 (推進協 豊浜中)
	7	集 団 づ く り	基礎学力の充実をめざす学習集団づくり。	加藤 光明 (岐阜 土岐 泉中) 黒木 潤 (推進協 豊高)

分科会一覽 (一部未定)

司 会 者	助 言 者	記 録 者
岩田 好(兵庫 的形小) 谷水 永(推進協 豊島小)	塩田 芳久(名誉会長) 新田 正彦(元 豊高校長) (県教委同和教育課)	中洲 裕美(推進協豊高)
	土屋 孝子(文教女子大)	新開 涼子(推進協豊高)
森本 俊和(兵庫 男鹿小)	梶田 正巳(名古屋大) 池上 誉雄(徳島 里浦小校長) 島田 恭次(尾道教育事務所) 橋浜 浩(尾道教育事務所)	原野 和美(推進協沖友小) 上野 陽美(推進協斎小)
丸山 正堯(愛知 平尾小) 北村 艶子(徳島 元 八万南小)	鹿内 信喜(北海道教育大) 稲垣 菊夫(愛知 高森台中校長) 芝山 吉宣(尾道教育事務所)	中段 美枝(推進協豊小)
大関 巖(新潟 南中野山小) 中村 鐘章(愛知 松平中)	小石 寛文(神戸大) 吉田 武男(兵庫 御国野小校長)	森岡 緑(推進協豊島小)
高村 博(滋賀 五個荘小) 山本 剛(兵庫 城洋小)	太田 信夫(筑波大) 松本 重雄(愛知 松山小校長) 山本 輝明(尾道教育事務所)	川原 祐子(推進協久比小)
堀場 正美(愛知 鷹来中) 塩田 博久(広島 安浦中)	市川 千秋(三重大) 白井 仁(愛知 元 中部中校長) 森田 利夫(愛知 西山小校長) 植木 章弘(尾道教育事務所)	岡野 光恵(推進協豊中)
近藤 慎平(岐阜 泉中) 渡川 敏行(推進協 豊浜中)	石田 裕久(南山大) 望月和三郎(東京 清瀬5中校長) 開本 益夫(尾道教育事務所)	藤原 英子(推進協豊浜中)
松田 福義(兵庫 林田中) 岡本 一士(広島 広高)	杉江 修治(中京大) 加藤 倅一(兵庫 四郷小校長)	佐伯志津代(推進協豊高)

第1日 授業研究 各校紹介ならびに各校日程 (小学校の部)

豊浜町立斎小学校

本校は県内南端二番目の斎島にある唯一の文化センターである。町の中心の豊島からさらに南の斎島の玄関口に木造ながら古い歴史を秘めて静かに立っている。かつて男子は島外で働いていたが、現在は多くの方が阪神方面へ移住し、児童数は4名、職員は5名である。

「地域にへき地はあっても、教育にへき地があってはならない。」という認識にたって、幾多の悪条件にめげず努力を続けている。

昨年度からは、国語科を重点教科として「言語表現能力の向上」をめざし、発表朝会で全員が生活経験や願いなどを話し、これを文にして更に話し方を工夫している。今年からは短作文の研究、実践に入っている。水泳に取り組んだ結果、その成果はめざましい。山越え、岩場歩きの体力づくりは理科や図工にもつながる。昨年度から郷土の民話から影絵劇上演をはじめ、今年もはりきっている。

豊浜町立大浜小学校・幼稚園

1. 本校の実態とその歩み

本校は、へき地一級地で広島県の最南端の島嶼部に位置し、柑橘栽培を営む、戸数209、人口628、大部分の農家と数戸の漁業家庭で構成され、園児12名、児童数50名の小規模校である。

数年前、地域の課題を幼小中高という共通の場で解決するため、豊高校区教育推進協議会が結成され今日に至っている。従来は、この地域にみられる表現力の弱さのために国語科の研究を重ねたが一定の成果を得たとの判断で本年度より算数科「計算力を高め、すじ道を立てた考え方」のテーマを設定してきた。

2. 本校の教育課題

- ・ 学習は教わるものということから、学ぶものへという発想が、地域の閉鎖性を解消して原動力となるか。
- ・ バズ学習は複式学級の原点といえるか。
- ・ 集合指導の試みとそのあり方はどうか。

研究授業（斎小学校と大浜小学校は集合教育を行います）

1. 時間配分

10:00	10:30	11:15	11:25	12:10	13:00	14:00
受付	1校時授業	休憩	2校時授業	昼食休憩	研究協議	移動

2. 授業内容

学 年	授 業 者	教 科	単 元
1年 2年 } 複式	広 近 先 子	算 数	1 年 た し ざ ん 2 年 か け ざ ん
3 年	竹 内 ナ オ ミ	算 数	三 角 形
4 年	寺 一 史 子	算 数	面 積
5年 6年 } 複式	小 林 英 臣	算 数	5 年 分 数 6 年 対 称 図 形
幼 稚 園	国 広 澄 枝		お は な し つ づ くり

豊浜町立豊島小学校・幼稚園

豊島は周囲12kmの瀬戸内海の小島であり、産業は小型漁船による水産業が主なものであるが、柑橘の栽培もかなり行われています。平地が全くなく、入りくんだ家並の中に私たちの学校があります。本校は、かつては1000名に余るマンモス校でありましたが、現在では児童240名、園児73名の小じんまりとした規模となっています。

漁業者の多くが、遠く四国宇和島方面から、九州長崎方面にまで出漁し、子どもたちは祖父母の世話になったり、姉姉とだけの生活をしています。また55名の子どもは豊浜学寮から通っています。

55年度より「健康教育」にとりくみ、57年度には、広島県の保健優秀校として表彰を受けました。58年度から地域の実態に即し言語力の向上をめざし、国語科を中心にした研究を行ない、本年度は更に全教科に拡げて研修を進め、今回は国語科、社会科、算数科を公開することにし、4月からとりくみを進めています。

研究授業

1. 時間配分

10:00 10:30 11:15 11:25 12:10 13:00 13:50

受付	1校時授業	休憩	2校時授業	昼食	研究協議	移動
----	-------	----	-------	----	------	----

2. 授業内容

学年	授業者	教科	単元	
幼	新開 菊美		リズムであそぼう	一校時
1年	川崎 芳江	算数	かたちづくり	
3年	深見 直彦	社会	市民のつくり出すもの、「農家のしごと」	
5年	金子 順子	社会	わが国の製鉄所、「ふえる鉄の生産と輸出」	
4年	久保岡 司	国語	小さな犬の小さい青い服	二校時
6年	竹内 優	社会	天下統一と鎖国、「大阪と江戸」	

豊町立久比小学校・幼稚園

久比小学校は、児童76名の5学級（3、4年は複式学級）職員9名の小規模校です。学校の施設は、保護者の協力により、学年の森、体力づくり、交通教室と子供に役立つものが備えられています。

三方を山に囲まれ、北は海を臨む狭い町ですが、美しい自然と人情豊かな生活環境の中で、子ども達は明るく、のびのびと育っています。本校は小人数なので多人数の中に入っても対応できる子どもに育てるため、子ども達の自主的運営で、発表朝会、音楽朝会、業間体育、交通安全活動等を行っています。このような実践活動とおして、お互いが支え合い認め合い、助け合う仲間になってきています。

このたびの研究大会では、研究主題「個の問いかけにこたえ、磨き合う集団づくり」の実践を発表し御指導を賜わり、本校の今後の教育の推進の糧にしたいと思っております。

研究授業

1. 時間配分

10:00 10:30 11:15 11:20 12:05 13:00 14:00

受付	1校時授業	休憩	2校時授業	昼食、アトラクション	研究協議	移動
----	-------	----	-------	------------	------	----

2. 授業内容

学年	授業者	教科	
1年	小林 千浪	算数	一校時
34年	川原 祐子	算数	
6年	藤田 登喜子	算数	
幼稚園	石田 瑞枝 田中 時恵	のりものを 作って遊ぶ	

学年	授業者	教科	
2年	横山 康子	算数	二校時
5年	宮地 キヌ子	算数	

豊町立沖友小学校・幼稚園

白砂青松，風光明眉なこ沖友は，南向きの斜面の段々畑に良質のみかんを産し，学区全部が農家である。しかしみかん産業の不振と過疎，交通不便という現象や環境の中での複式学級小規模校である。

子供はそれぞれ素直で明朗に育っているものの，他地域へ出た場合，萎縮して自分を表現できにくいへき地性のあることはいなめない。この子供達に，体で覚えるたくましい表現力を身につけさせたいという願いから体育科を取りあげた。つまり健康の増進や，体力の向上という体育科本来のねらいに加えて，共に伸びる仲間作りを旨としているわけである。

かけがえのない生まれ故郷を愛し，地域に生きる喜びを体得させる一助として，郷土に伝わる祭りばやしや，小さな願いを皆の力によってピックアップして物事をなすとげるすじ道を身につけさせるための児童会話し合い活動の一部も，あわせて披露したい。

研究授業

1. 時間配分

10:00	10:30	11:15	11:25	12:00	12:20	13:10	14:00
受付	研究授業	休憩	児童会	祭りばやし	昼食	研究協議	移動

2. 授業内容 (合同授業)

学年	教科【体育】・内容	授業者
全児童 1・2年	準備運動(柔軟運動・す早い動き) とび箱あそび	松本智子
3・4年	腕立て開脚とび	松浦良孝
5・6年	台上前転	惣明修市
全児童	整理運動	
幼稚園	おみせやさんごっこをしよう	池内文子

豊町立豊小学校・幼稚園

本校では，ここ数年来，到達度評価の考え方を取り入れた指導プログラムを作成して，学習の効率化をはかる指導法の研究(教育工学的手法による授業研究)に取り組んできました。

この指導プログラムは，目標と評価の一体化をはかり，学習過程における形成的評価を行うために目標行動をたて，フローチャートで記述しています。

又，アンサーキューブを用いて，授業過程における評価活動と，そのフィードバックを行うようにしています。

このアンサーキューブは，安堵感，緊張感を持たせたり，成功感を味あわせたりして，学習意欲をかりたてています。

だから，一人ひとりの学習が，子どもたち同士の相互作用によって深まるバズとの併用によって，子供たちは，更に生き生きとできた喜びを味わいながら授業に取り組んでいます。

研究授業

1. 時間配分

10:00	10:30	11:15	11:25	12:10	13:00	14:00
受付	1校時授業	休憩	2校時授業	昼食	研究協議	移動

2. 授業内容

学年	授業者	教科	単元	学年	授業者	内容
1年	土井紀美子	国語	くじらぐも	幼稚園	大番五十鈴	収穫の喜びを味わおう。 (合同)
1年	小草ハツミ	算数	たし算(2)		大亀美保子	
4年	赤川治	国語	ごんぎつね		横手ひづる	
5年	大田利彦	算数	面積			

中学校会場の部

豊 町 立 豊 中 学 校

本校は昭和53年、第13回全国バス研究会のメイン会場になりました。全国各地より参加された方々には御記憶新たなことと存じます。当地はミカン産業の先進地、かつての繁栄を求めて、町ぐるみ振興の運動を進めています。それに呼応して、学校農園でのミカン栽培にとりこんでいます。勤労体験学習の一環として、教師生徒ともども汗を流し、収穫したミカンは町内の学校給食のデザートとして喜ばれています。

本校の生徒の消極性を打破する試みとして、毎週月曜日の生徒集会で、自分の考え、意見を述べ、討議の場として活用しています。人前で堂々と自分のことが述べられる生徒の育成をめざしています。課外の部活動もさかんで、特に女子バレー部は一昨年県大会で優勝、又今年度、南部地区大会で優勝し、秋の県大会優勝を目標に頑張っています。

人間性豊かな生徒、自ら進んで自己実現のできる生徒をつくるべく、全教育活動を通して努力をしています。研究会当日、ささやかながらクラブ発表もいたします。

研究授業

1. 時間配分

10:00	10:30	11:10	11:20	12:10	13:00	14:00
受付	クラブ発表		研究授業	昼食	研究協議	移動

2. 授業内容

学年	教科	授業者
1年	美術	長尾源一
2年	国語	小迫和子
3年	理科	二宮力

豊浜町立豊浜中学校

豊浜中学校でバス学習をはじめから17年になります。先輩たちは復習バスから生活バス、教科バス、町内バスなど地域実態に即したバス教育を創造してきました。在籍生徒の40%が長期県外出漁のため不在家庭を守って通学している状況ですから教科バスに的をしぼることが無理で生活の全領域、さらに町内各地域にまでバスは進出していきました。このことは結局、学習につながる態度形成や仲間づくりに大きな比重がかけられていた、ということです。

こうした過程をへて生徒たちは大きく変容し現在では教科バスに的をしぼった授業改善が安定的に進められるまでになっています。全国バスでは単元見通し学習への手がかりを求めた実践を見ていただき、いずれは単元見通し学習が家庭学習につながっていく道すじを探りたいと願っています。貴重なご教示をお待ちしています。

研究授業

1. 時間配分

10:00	10:30	11:20	11:40	12:20	12:30	13:10	13:45
受付	研究授業	移動 町内バス会場	町内バス (公民館)	移動 中学校	昼食	研究協議	移動

2. 授業内容

学年	教科	授業者
1年	社会	底押正司
3年	理科	丸山大輔

高等学校会場の部

広島県立豊高等学校

本校は、昭和23年に昼間定時制分校として開校し、当時の農漁村の勤労青少年に多くの夢と希望を与え、離島における教育の燈が点されたのであった。爾来地域社会とともに変遷を幾度も経て、昭和53年第13回全国バズ学習研究集会がこの地域で開催された年に、地域の多年の念願が実現し、豊高等学校として独立したのである。

教育の特色は、地域社会の教育課題をふまえた地域高校として、地域の生徒が誰でも学べ、その進路を保障しうる教育内容の創造をめざし、1年時全員共通して基礎的な教科を履習し、その中で自己進路に合わせて、2年時以降、生活科学（家庭科目）や情報処理（商業科目）が選択履習でき、多様な社会状況に対応できる人間の育成に努めている。

本研究集会の主題にも「基礎学力の充実をめざす学習集団づくり」をテーマとし、ひとり一人が将来の目標を持ち、その実現を協同によって達成して行くことを目指している。

研究授業

1. 時間配分

10:00	10:30	11:20	11:30	12:20	13:10	14:00
受付	研究授業	研究協議	昼食	研究協議	移動	

2. 授業内容

1の1	商業経済	奥家豊治	1の2	数学Ⅰ	佐伯志津代
2の1	世界史	住吉光彦	2の2	数学Ⅱ	丸山孝寛
3の1	化学	出川克彦	3の2	英語Ⅱ	松本光彦

第13回全国バズ学習研究集会は次のようなねらいでした

21世紀がそこまで近づいている今日の社会において、その21世紀を生きようとする児童、生徒はなによりも人間尊重の精神に基づいた民主的な社会人として成長することが要請されています。

それには、学校教育においても、あらゆる教育活動を通じて、児童・生徒が相互に認め合い、協同して、自己課題を達成していける力を体得できるように援助しなければなりません。

そして、その教育内容は、児童・生徒とそれを取り巻く地域の実態を直視する中で、教育課題をつかみ、幼・小・中に準義務教育化された高をも包括し、一貫した教育態勢の確立をめざしつつ創造するものでなければなりません。その観点から、今年度結成された組織が、本研究集会の地元実行委員会である、広島県豊高校区教育推進協議会であります。

この教育運動は、差別を許さない子どもを育てる同和教育と認知的学習と態度的学習の同時的達成をねらうバズ学習とが統合される中で展開されようとしています。

したがって、本研究集会においては、そうした地元の運動を援助する意味も含めて、全国の効・小・中・高、それぞれの立場での実践を出し合い討論し、共通理解の上に立って、地域の教育課題とは何かその教育課題をふまえた一貫教育態勢とはなにをすることなのか。を可能なかぎり明らかにしたいと願っています。（第13回集会開催要項より）